

令和 5 年 6 月 15 日 メルボルン交流抄

「メルボルン・クアッド・カルテット」の奏でるハーモニー

演奏グループ「メルボルン・クアッド・カルテット」についてご紹介します。

いわゆるクアッド(QUAD)は、日豪米印の4カ国の連携を表す言葉で使われています。それを音楽のハーモニーで表現し、QUAD をより多くの人々に理解してもらうために、メルボルン在住の 4 人のプロのミュージシャンに4カ国の楽器で奏でてもらうと考えました。日本の箏の演奏者ブランドン・リー氏、インドのシタールを演奏するサリータ・マックハーグ女史、アメリカンのギターとハーモニカを奏でるジョージ上川氏、最後にオーストラリア人のパーカッショニスト、マシュー・ストーンハウス氏が加わり、5月にリハーサルを兼ねた演奏会を開きました。曲のテーマは「自由で開かれた海」です。QUAD4カ国の目指す連携を象徴するかのような素晴らしいハーモニーが人々を魅了しました。



<https://drive.google.com/file/d/1leuFVVE5hWlvzdE4r1wkc3kNbVMSd0eN/view>

6月初旬、ビクトリア州のリンダ・デソウ総督公邸で、演奏する機会が巡ってきました。それは、QUAD4カ国の各々から25人の青年達が参加する「クアッド・フェロウシップ・プログラム」の歓迎レセプションにおいてです。興味津々で聞き入る参加者からは、我々が目指している4カ国のハーモニーに通じるものがあるとの嬉しい感想をいただきました。

主催者であるデソウ総督から、素晴らしい試みである、また、同席していたティム・パレス州財務兼貿易大臣から、おそらく世界初ではないか、画期的な演奏である、との高い評価をいただきました。

忙しい中、見事なセッションを試みてくれた4人のミュージシャンに感謝したいと思います。また、このような機会を提供いただいた総督をはじめ、豪外務省、ビクトリア州政府、米国総領事館、インド総領事館、その他の関係者の皆さんに心よりお礼を申し上げます。また、次の機会により多くの方々にも生の演奏を聞いてもらいたいと思います。

